

す すげッ♥
オレ…先生に
オナホみたい
に使われてる…♥

オレが美味しい牡蠣とか
秋刀魚とか食うために
あった口が…

ぐりぐりおなほ
カキ

んほんほん
カキ

先生のデカチンポ
食うためのクチマンコに
なっちゃまう…っ♥

喉奥を突く度に
ごげっ♡ごげっ♡と
間抜けな濁音を
部屋に響かせる夏向

食道を超えた部分まで
届いてしまっているのが
亀頭を締め付ける喉の
感触から直に感じられる

ほっ
ちゅっ
ぱん

ほっ
ちゅっ
ぱん

ほっ
ちゅっ
ぱん

ほっ
ちゅっ
ぱん

それでもなお
恍惚とした表情で
視線をしっかりと
俺に向けながら…

まるでそのまま口に
コキ捨ててください
とでも言うような

従順ぶりを見せつける

改めて今の状況が
夢なんじゃないか
と思う

こんなお天道様が
燦燦と輝く真昼間…

あんな
ほろろ

あんな
ほろろ

あんな
ほろろ

あんな
ほろろ

離島の田舎の…

男子●校生の
チンポを
喉奥イラマで
コラてらる



そう思うだけで
肉棒が勝手に
パンプアップしていき...

オツ ♡

イグツ ♡

オツ ♡

オツ!?! ♡

激しいイラマチオに負けず劣らずの
強烈なひよつとこバキュームが
パンプチンポへのトドメとなり…
俺は搾り取られるように…

夏向の口に
射精した





カチンカチン

クワッ
クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ
クワッ

すげえ……♡
とまんねえっ♡
先生の熱くて濃い
ちんぽ汁……っ♡

喉の奥ごと開けて
オレの胃袋まで
染み込んでく……っ♡

飲み込み切れな……
し……死んじゃう……っ♡

尿道に残った精子も
残さず吸い出す
オスガキバキュームで
至福のガニ股射精

金玉から直に吸い上げる
お掃除吸引でゼリー状の
熟成精子がブリブリと
尿道を掘削しながら
口内に送り込まれる

恥も忘れ頬を思い切り
窄ませる情けない夏向の
ちん吸い顔を生オカズに

俺は溜まりに溜まった
煩惱汁を思い切り
夏向の口にコキ捨てる







スルメイカより
イカくっせえ精子っ♡

濃すぎてブリッブリに
舌に絡みついて
なかなか飲み込めん…ッ

はーっ
はーっ
はーっ

はーっ
はーっ
はーっ

でもどんな魚より栄養
たっぷりなのわかるッ
ちっと癖が強くて
刺激的な味やけど…

クセになりそ…♡

ご馳走様でしたとても言うように
空っぽになったイカ臭い口内を
かぱっと見せつける

オメガとしての性からか
約20秒程その恰好のまま
使用済み口マンコでご奉仕
できた喜びを全身で表現し
胃袋へ流れていく遣伝子に
ぶるると身を震わせていた

かぱん

んがー



海ノ幸 海野漁業協同組合 直売店



A... A...

A... A...

A...

A...

A...

A...

A...

A... A...

自ら両足を腕で固定し
ちんぐりがえしする夏向

こんがり焼けた
双丘の中心には
漁の禪の目焼け跡

そして何かを待ち焦がれるように
ヒクヒクと襲を収縮させ蒸れた
フェロモンを漂わせる蕾があった



夏向のこころ
すげえ濡れてる

先生の舐めてたら
こうなっちゃった

今度はオレの
舐めてよ 先生

あめ...り

/// ~ ~ ~
Ame

/// ~ ~ ~
Ame

/// ~ ~ ~
Ame



おっ…アナルが
舌に吸い付いて…っ
引っこ抜かれそうだ

中はもっと味が濃いッ
新鮮な海の幸が
ぎゅっと濃縮された
芳醇な性の味…ッ





あっ…はも…ッ
奥まで…舌ア…ッ♡

先生の舌あ…
きもちええ〜…♡

お

お

お

お

お

お



奥舐めるのが
うらやま...

夏向...
きもちうらやま...

う...う...う...
せんせえ...
わっかの奥まで
おろせし...ん

う...う...う...
う...う...う...
う...う...う...



んあぁぁあぁあぁッ
いっいっ…っせっせえ…
そこおおおおお…ッ♡

肉厚ヒダを掻き分けて
分岐する孔を交互に
掘削すると

恥すかしがるように
初心な収縮を起こす二孔

特に上側の雄膣は
反応が良い

俺は最も敏感な
そこを集中的に
舌で愛撫する





いっしょに
あんなに
気持ちいい

あんなに
気持ちいい

あんなに
気持ちいい

あんなに
気持ちいい

あんなに
気持ちいい

あんなに
気持ちいい

あんなに
気持ちいい

.....は.....あッ

またイってもうた...

先生おまんこするの
うまいなあ.....ッ♥

.....夏向ッ





あ